

令和7年度糸魚川地域在宅ケア推進センター事業概要

資料2-3

取組名	取組の目的	取組内容及び方法	狙いとする取組の成果
<p>在宅医療実施機関の状況及び課題等の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸魚川地域における在宅医療の実施状況や、医療機関が感じている課題・意見を把握する。 ● 糸魚川地域の在宅医療における課題を明確化し、今後の支援策を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸魚川地域の病院・診療所医師を対象としたアンケート調査の実施 【アンケート項目】 訪問診療・往診の現状と動向、在宅看取り件数、今後増加が見込める患者数、5年後の訪問診療・往診の実施見込、訪問診療・往診未実施の理由、訪問診療・往診における関係各職種との連携についての意見・要望 ● 訪問診療・往診を専門とした医師へのヒアリングの実施 【ヒアリング項目】 在宅医療患者動向、実施件数増加に向けて必要な事項、5年後の在宅医療の実施意向、他診療所・病院との連携について 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 病院・診療所医師に、在宅医療実施状況や病院・診療所が抱えている課題・意見を把握する。 ● 現状に対して、糸魚川地域として課題を共有し、効果的な支援および連携の方向性を明確化する。
<p>在宅ケア推進センター連携会議の開催 糸魚川地域在宅医療基盤整備検討会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 在宅ケア推進センター事業について検討し、意見・助言を得る。 ● 糸魚川地域の在宅医療における課題を明確化し、在宅医療推進のための基盤整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 在宅ケア推進センター連携会議の開催 行政関係者（県地域振興局・市福祉事務所）と、在宅医療推進のための検討を実施する。 ● 糸魚川地域在宅医療基盤整備検討会の開催 在宅医療推進のため実施した事業の実績・経過等の報告と今後の事業展開について検討する。在宅医療の現状把握からの課題を共有し、解決策等の協議・検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政と協力・連携し、それぞれの立場から事業に取り組む。 ● センター事業を理解していただくと共に、意見・助言を得る。 ● 糸魚川地域の在宅医療の方向性を明確にし、在宅医療の推進を図る。
<p>入退院支援に関わる医療と介護連携の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 入退院に関わる医療関係者と在宅医・介護関係者が情報共有でき、円滑な連携体制が整うことで在宅医療が継続される。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 円滑な入退院連携に向けた医療・介護職の意見交換会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・病院と在宅医療・介護に関わる関係者の意見交換を行い、相互理解を深めるとともに連携強化を図る。 ・入退院連携とACPについて、それぞれの職種の意見を出し合うことで、ACPの理解を深め今後の連携につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 円滑で切れ目のない入退院連携体制が整うと、入退院の繰り返しを防ぎ、在宅医療及び介護支援が継続される。 ● 在宅時の状態やACPについて、ケアマネジャーからの情報提供により医療機関が把握することで、治療や退院に向けての目標を設定しやすい。 ● 退院時カンファレンス等を通じ、在宅後の医療・介護の計画が在宅医とケアマネジャー間で共有できると共に、お互いの役割分担を図る。

取組名	取組の目的	取組内容及び方法	狙いとする取組の成果
在宅医療・介護関係者 に対する人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療・介護従事者の連携により、在宅医療・介護が継続的・包括的に提供できる。 ● 顔の見える関係づくりによりスムーズな連携が実施できる体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多職種連携を図るための「事例研究会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・事例を通して専門職としての各々の役割を考えるとともに、意見交換実施し、各職種の特性を理解した上で、顔の見える関係を築き関係者間の連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 在宅医療・介護関係者が、在宅療養を支える役割を分担・連携することで、医師の負担軽減を図るとともに、在宅療養者の増加につなげる。 ● 医療・介護従事者が顔の見える関係となり、在宅医療・介護をチーム体制で提供できる。
医療・介護従事者への ACP普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ● ACPを医療・介護従事者に普及・啓発することで、関わるケース自身が望む終末期の選択を支援できるようになる。 ● 市民対象の普及啓発セミナーに、参加を促し、市民への啓発内容、反応等を把握する機会とし各自の業務に反映させることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ACPの普及啓発及び人生会議ノートの活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護従事者(医師・看護師・ケアマネジャー等)を対象とする研修会の開催。 ・市民対象の普及啓発セミナーに、医療従事者にも参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療・介護従事者が市民のACPへの取組みをサポートし、望む終末期の意思決定を支援することで在宅医療の推進につなげる。 ● 医療・介護従事者がACPへの理解を深めると共に、医療・介護サービスを利用しながら終末期を住み慣れた自宅で療養する人を増やす。
訪問診療専門事業所との 連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 在宅の医療・介護関係者が、円滑な連携体制を整えることで在宅医療が継続される。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 訪問診療専門医療機関と訪問看護やケアマネジャーによる意見交換会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 訪問診療専門医療機関と訪問看護やケアマネジャーの連携が円滑になり、在宅療養者及びその家族が安心して在宅療養を継続できる。